

## 令和2年度 第5回経営協議会議事要旨

日時 令和3年3月23日(月) 13時30分～14時55分  
場所 本部棟2F大会議室, Web会議  
出席者 (学外委員) 井田委員, 大平委員, 潮谷委員, 陣内委員, 菅谷委員,  
戸上委員, 中尾委員,  
(学内委員) 兒玉学長, 渡委員, 山下委員, 寺本委員, 岩本委員,  
山崎委員, 山下委員  
欠席者 山口委員  
陪席者 竹下理事, 佐々木監事, 板橋教育学部長, 吉住芸術地域デザイン学  
部長, 樫澤経済学部長, 末岡医学部長, 豊田理工学部長, 小林農学  
部長

- ・学長より, 令和2年度第4回経営協議会の議事要旨の確認について, 依頼があった。

### 【 審議事項 】

- (1) 令和3年度国立大学法人佐賀大学年度計画(案)について  
企画評価課長より, 国立大学法人法第35条において読み替えて準用する独立行政法人通則法第31条第1項の規定により, 本学の令和3年度の年度計画を作成し, 文部科学省へ届け出る旨, 令和3年度佐賀大学の年度計画の特徴及び年度計画(案)について, 説明があり, 審議の結果, 了承された。
- (2) 「国立大学法人佐賀大学新型コロナウイルス感染症に対処する職員に係る手当に関する特例を定める規程」の新設について  
渡理事より, 本学附属病院において, 令和3年1月から新型コロナウイルスに感染した重症患者の受入れを開始しており, 感染のリスク等平常時には想定されない業務に対応する職員に対し, 手当を支給する旨の説明があった。  
次いで, 人事課長より, 本規程の概要, 支給額及び適用時期等について説明があり, 審議の結果, 了承された。
- (3) 「令和3年度予算編成における財務戦略について(案)」及び「令和3年度佐賀大学収入・支出予算(案)」について  
財務課長より, 「令和3年度佐賀大学予算編成の基本方針」を踏まえ, 本学の令和3年度予算編成における財務戦略及び令和3年度収入・支出予算を策定する旨, 令和3年度国立大学法人佐賀大学収入・支出予算及びその内訳について説明があり, 審議の結果, 了承された。

- (4) 令和3年度長期借入金の借入及び長期借入金償還計画の認可申請について

財務課長より、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構より借入予定である令和3年度の長期借入金について、文部科学省に借入及び償還計画の認可申請を行うものである旨、説明があり、審議の結果、了承された。

- (5) 令和2年度部局予算の繰越について（案）

財務課長より、「国立大学法人佐賀大学の予算の繰越の取扱いについて」に基づき、部局から申請があった令和2年度予算について、予算の繰越を妥当と判断し、繰越を認めるものである旨説明があり、審議の結果、了承された。

- (6) その他  
特になし。

#### 【 報告事項 】

- (1) 統合報告書2020及び財務分析2020について

財務課長より、本件について、ステークホルダー向けに財務諸表をわかりやすく伝えること及び既存の財務レポートを見直し、本学の特色ある取組と財務状況の両面から、わかりやすく発信していくことを目的に、令和元事業年度決算の参考資料として、統合報告書2020を発行する旨、統合報告書2020及び財務分析2020の概要等について説明があった。

- (2) 「国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等の報告書」について

渡理事より、令和2年3月に策定された「国立大学法人ガバナンス・コード」について、国立大学法人において各原則に対する適合状況を確認し、また、令和2年11月及び令和3年1月の経営協議会において、経営協議会委員に確認いただいたものを、令和3年2月末に本学ホームページにおいて公表した旨、報告があった。

- (3) 「国立大学法人佐賀大学における資金管理（運用）について」の改正について

経理調達課長より、余裕金の運用について、専門的知識を有する本学の教員等から参考意見を聴取することを目的として、「国立大学法人佐賀大学余裕金運用委員会」を設置する旨、また、委員会設置に伴い、「国立大学法人佐賀大学における資金管理（運用）について」の改正を行う旨、報告があった。

(4) その他  
特になし

【 意見交換 】

◎第4期中期目標・中期計画に向けて

学長より，第4期中期目標・中期計画の策定に向けて，経営協議会委員より広くご意見をいただきたい旨の発言があった。次いで，渡理事より，第4期中期目標・中期計画の概要，第3期との変更点及び各中期目標・中期計画の項目等について説明あり，その後，意見交換が行われた。

主な意見は下記のとおり

- ・ステークホルダーとの関係性を強めるために，大学の活動に対する可視化をより進めていき，エビデンスを押さえた上での情報提供を行っていくべきではないか。
- ・（人材の育成に関連して）学生が社会に出る上で必要な基本的なスキルについて，具体的な数値目標を定めて，佐賀大学の学生全員が身に付けることができるような環境を整備してはどうか。

【 その他 】  
特になし。

以 上